

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		PARCふくしま	公表日				2026年	2月	13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点			
環境・ 体制・ 運営・ 整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		直接支援ではないため教具は使用していないが、教材・教具のご紹介は行っている。				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		PT/OT/ST/保育士(経験5年以上)の多職種で連携を行っている。				
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		全体ミーティングを通じて業務改善に努めている。				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様からのご意見やご意向はスタッフ間で必ず共有を行い、大切に検討させて頂いている。				
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に面談等行いながら業務改善に努めている。				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後近隣の事業所間での外部評価などを検討し、第三者目線からの業務改善を検討していく。			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		同法人内で経験年数の長いスタッフからのオブザーブや研修の機会がある。				
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		当該記載内容通りに実施。				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		当該記載内容通りに実施。				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		基本的には保護者様のご意向が中心にはなるが、お子さまの現状の課題に関しては訪問先とも必ず共有を行っており、できる範囲で計画書に反映している。				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		当該記載内容通りに実施。				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		療育中の行動観察や保護者からのヒアリングにより都度状況確認を行っているが、標準化されたツールを用いてのアセスメントは今後取り入れるかどうかは検討していきたい。			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		訪問先の意向や思念を尊重したうえで、現在の保育活動や学校活動でできる範囲での具体的に支援方法を提示している。				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		当該記載内容通りに実施。				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		2名体制で訪問支援に向かうことが多いため、訪問先に向かうまでに支援内容の共有や現状について必ず情報共有を行っている。				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援の終了後には児発管との共有を最優先で行うようにしている。鮮度が高い情報を共有できるよう、なるべくタイムリーな情報共有に努めている。				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		当該記載内容通りに実施。				
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		当該記載内容通りに実施。				
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		当該記載内容通りに実施。				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		毎回必ず児童発達支援管理責任者が参画している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		協力医療機関とは情報共有の場があるが、他の医療機関や保健施設とは連携の機会が少ないことも課題と認識している。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		特に移行期のお子さまに対して、小学校への引継ぎ資料を作成する等必要な情報が共有できるようなシステム作りを行っていきたい。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		○		同法人内で経験年数の長いスタッフにオブザーブを依頼することはあるが、外部研修の機会は少ない。今後は積極的に研修の機会や外部オブザーブの機会を取り入れていきたい。
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		家族支援は当事業所の療育の柱の一つであると考えているため、今後も保護者様と支援の方向性をすり合わせながら療育を行っていきたい。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		支援内容を客観的にみて頂き、関わり方等のアドバイスを行っている。保護者様が参加できる研修の機会も設けていきたい。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		当該記載内容の通り実施。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		当該記載内容の通り実施。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		お子さまやご家族の想いを何よりも大切にしてい計画書作成を行っている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		当該記載内容の通り実施。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		状況に応じて面談の機会を設けたり、電話やSNS等で対応を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者交流会は行っているものの、回数は少ないこともあり、回数を増やすことができるかどうか事業所間で検討していきたい。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		状況に応じて面談の機会を設けたり、電話やSNS等で対応を行っている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月一回の広報誌を発行している。今後SNSの運用に関しては事業所間で検討していきたい。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		当該記載内容の通り実施。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		当該記載内容の通り実施。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問先の相談には積極的に応じるようにしている。ただし意見が偏らないよう配慮しながら助言を行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		カンファレンスは対面・もしくは電話で必ず行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		報告書を持って支援内容の共有をタイムリーに行っている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		当該記載内容の通り実施。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問先と保護者を繋ぐ支援だと認識しているため、信頼関係を何よりも大切にしている。	

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		当該記載内容の通り実施。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		当該記載内容の通り実施。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		訪問支援でのヒヤリハットは今まで起こったことはないが、今後起こった際には必ず共有を行う。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内で虐待防止についての研修を行っており、全職員が研修を受けている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			身体拘束の研修は随時行っており、重要事項説明書に基づいて契約時にご説明はしている。十分な説明のもと、保護者様へのご理解と了解を得られるように引き続き尽力していく。